

第 1 回

実戦問題 解答・解説

☆下記の表は、次ページより始まる「解答・解説」の中で用いた記号・略語の一覧表です。

S	主語または主部 (Subject)	—	動詞の原形
S'	意味上の主語	to —	to 不定詞
V	動詞 (Verb)	—ing	現在分詞または動名詞
O	目的語 (Object)	p.p.	過去分詞
C	補語 (Complement)	[]	置換可能な語句
M	修飾語句 (Modifier)	()	省略可能な語句
図 動 副, etc.	名詞, 動詞, 副詞, etc.	< >	つながりのある語句

(解答・配点)

問 番 号 (配点)	設 問		解 答 番 号	正 解	配 点	自採点欄	問 番 号 (配点)	設 問		解 答 番 号	正 解	配 点	自採点欄
第 1 問 (25)	A	1	1	④	4		第 4 問 (12)	A	18	18	④	4*	
		2	2	①	4				19	19	③		
		3	3	③	4				20	20	①		
		4	4	③	4				21	21	②		
	B	5	5	②	3				22	22	①	1	
		6	6	①	3				23	23	②	1	
		7	7	③	3				24	24	④	1	
小 計									B	25	25	⑤	1
								26	26	②	4		
第 2 問 (16)	8	8	④	4		小 計							
	9	9	④	4		第 5 問 (15)	27	27	④	3			
	10	10	③	4			28	28	②	2*			
	11	11	①	4			29	29	④				
小 計							30	30	①	2*			
第 3 問 (18)	12	12	②	3			31	31	④				
	13	13	①	3			32	32	④		4		
	14	14	②	3		33	33	①	4				
	15	15	④	3		小 計							
	16	16	③	3		第 6 問 (14)	A	34	34	③	3		
17	17	④	3		35			35	①	3			
小 計							B	36	36	③	4		
(注) *は、全部正解の場合のみ点を与える。								37	37	④	4		
						小 計							
						合 計							

第1問

解答

A	問1 - ④	問2 - ①	問3 - ③	問4 - ③	(各4点)
B	問5 - ②	問6 - ①	問7 - ③		(各3点)

出題のねらい

A 身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い発話を聞いて、「話者の言いたいこと」を把握する力を問う問題です。

出典

Original Material

放送内容

問1 1 正解 ④

I've just left the store. I'm on my way home now.

全訳

たった今、店を出たよ。今、帰っているところ。

- ① 話者は家にいる。
- ② 話者は店にいる。
- ③ 話者は店に向かっている。
- ④ 話者はまだ家に帰っていない。

設問解説

正解は④。

left (原形は leave) は「…を去る」という意味。また, have p.p. で「完了」なので, 「すでに店を去った」ということになる。I'm on my way home は「私は家に帰る途中です」という意味なので, ④が正解。

主な語句・表現

◇ be on one's way home は「家に帰る途中である」という意味。home 以外の副詞や前置詞句を用いることも可能。(例) (be) on one's way to the station「駅に向かう途中(である)」

放送内容

問2 2 正解 ①

My teacher has asked us a tough question about this country. I wish I knew the answer.

全訳

私の先生は私たちにこの国について難しい質問をしてきた。答えがわかればよいのになあ。

- ① 話者は答えを知らない。
- ② 話者はその質問を気に入っていない。
- ③ 話者はその質問に答えたいとは思っていない。
- ④ 話者はその問題を簡単だと思っている。

設問解説

正解は①。

I wish I knew the answer. は「答えがわかればよいのになあ」という意味。I wish の目的語となる that 節 (wish の後ろに that が省略されている) は事実に反する内容となる。すなわち I knew は「実際には答えがわかっていない」ということを示している。よって①が正解となる。

主な語句・表現

◇ tough 「難しい」

◇ I wish (that) SV ... における (that) SV ... は「事実に反する」内容となる。wish が現在時

制の場合、that 節内が現在の事実と反する願望である場合は、節内の動詞は過去形に、過去の事実と反する願望の場合は過去完了形を用いる。(例) *I wish I had more money.* (もっとお金を持っていればなあ) *I wish I had bought the concert ticket.* (そのコンサートのチケットを買っておけばよかった)

問3 3 正解 ③

放送内容

Peter enjoyed visiting the temple, but he didn't have enough time to go to the park.

全訳

ピーターはそのお寺に行くことを楽しんだが、公園に行くための十分な時間はなかった。

- ① ピーターはどこにも行かなかった。
- ② ピーターは公園だけに行った。
- ③ ピーターはお寺だけに行った。
- ④ ピーターはお寺と公園に行った。

設問解説

正解は ③。

enjoyed visiting the temple は「お寺に行くことを楽しんだ」という意味であり、要するに「お寺に行った」ということを示している。but 以下で「公園に行くために十分な時間がなかった」と述べているため、正解は ③。

主な語句・表現

◇ enough 〈名詞〉 to - 「-するための十分な 〈名詞〉」

問4 4 正解 ③

放送内容

I'm meeting Kate next Tuesday because we need to talk about our presentation.

全訳

プレゼンテーションについて話す必要があるので、来週の火曜日にケイトに会う予定です。

- ① 話者は火曜日にプレゼンテーションを行った。
- ② 話者はケイトと話したところだ。
- ③ 話者はこれからケイトと会う予定だ。
- ④ 話者は今ケイトと一緒にいる。

設問解説

正解は ③。

現在進行形で「近い未来の予定」を意味するので「来週ケイトに会う予定」だとわかる。よって ③ が正解。

主な語句・表現

◇ give a presentation 「プレゼンテーションを行う」

出題のねらい

B 身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い発話を聞いて、それに対応するイラストを選ぶことを通じて、発話内容を把握する力を測るとともに、文法が生きた知識として身についているかどうかを問う問題です。

出典

Original Material

問5 正解②

放送内容

He didn't forget to close the window but he left the door open.

全訳

彼は窓を閉め忘れなかったが、ドアを開けっぱなしにした。



設問解説

正解は②。

forget to - は「-することを忘れる」という意味。また、leave A open は「Aを開けっぱなしにする」という意味。よって「窓は閉めたが、ドアは閉めなかった」ということなので、②が正解。

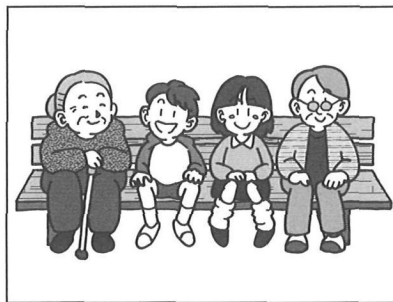
問6 正解①

放送内容

There are a boy and a girl sitting between two old ladies on the bench.

全訳

男の子と女の子が、2人のお年寄りの女性の間に挟まれて、ベンチに座っている。



設問解説

正解は①。

There be S -ing は「Sが-している」という意味。よって、There are a boy and a girl sitting は「男の子と女の子が座っている」と解釈することになる。さらに、between two old ladies は「2人のお年寄りの女性の間に」という意味なので男の子と女の子がお年寄りの間に座っていることがわかる。よって①が正解。

問7 7 正解 ③

放送内容

She should have brought a camera because there were many beautiful flowers in the park.

全訳

公園には多くの美しい花が咲いていたので、彼女はカメラを持って来るべきだった。



設問解説

正解は ③。

should have p.p. は「…するべきだった」という意味で用いることができる。これは「実際にはしなかった」ことについて用いるため、彼女がカメラを持って来なかったことがわかる。さらに、because 以下で「多くの美しい花がある」とあるので、③が正解。

第2問

解答

問8 - ④

問9 - ④

問10 - ③

問11 - ①

(各4点)

出題のねらい

身の回りの事柄に関して平易な英語で話されている短い対話を、場面の情報とイラストを参考にしながら聞いて、必要な情報を把握する力を問う問題です。

出典

Original Material

問8 8 正解④

放送内容

M: Look at that building! It looks like a hat placed upside down.

W: Yeah, and what's that up near the top floor?

M: I think it's supposed to be a ribbon.

W: Oh, I see. That's kind of cute.

Question: What does the building look like?

全訳

男性: ああの建物を見て! 帽子を逆さまにしてみたい。

女性: そうね。それにあの最上階の近くにあるものは何?

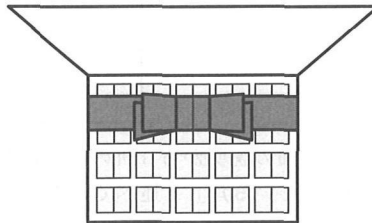
男性: リボンのつもりだと思うよ。

女性: ああ、なるほど。ちょっとかわいらしいわね。

質問: 建物はどのように見えるか?

設問解説

正解は④。



男性が「上下逆さまに置かれた帽子のようだ」と述べていることから、正解は②か④に絞られる。また「最上階の近くにあるのはリボンのつもりらしい」とも述べられているので、正解は④に決まる。

主な語句・表現

◇ look like ... 「…のように見える」

◇ placed upside down 「逆さまに置かれた」 placed は過去分詞で直前の a hat を修飾している。upside down は「逆さまに」の意の副詞句で placed を修飾している。

◇ Yeah Yes と同義。

◇ up near the top floor up は「上に」の意。near the top floor は「最上階の近くに」の意。この文を直訳すれば「あの、上に、最上階の近くにあるものは何だ」となるが、仮に和訳を求められた場合は up near the top floor をまとめて「あの、上の最上階近くにあるものは何だ」などとすればよい。(例) He lives here in Tokyo. (彼はここに、東京に住んでいる。→彼はここ東京に住んでいる)

◇ be supposed to be ... 「…と思われている; …ということになっている」 (例) He is

supposed to be a liberal. (彼はリベラル派と見られている)

◇ I see. 「わかった；なるほど」

◇ kind of ... 「ちょっと…；なんだか…」の意の熟語の副詞句。(例) She looks *kind of* sad. (彼女, ちょっと悲しそうに見えるね)

問9 9 正解④

放送内容

M : Where shall I put this desk?

W : Put it in the corner, please.

M : Which corner do you mean?

W : The one farthest from the window.

Question : Where does the woman want the man to put the desk?

全訳

男性：この机はどこに置いたらいいかな？

女性：角に置いてくれるかしら。

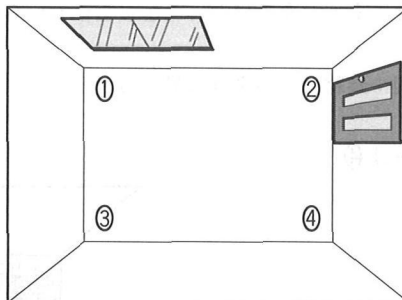
男性：どの角のこと？

女性：窓から一番離れている角。

質問：この女性は男性にどこに机を置いてほしいのか？

設問解説

正解は④。



対話の場面の説明から「机の置き場所」を開き取ればよいことがわかる。女性が「窓から一番離れている角」と述べていることから正解は④に決まる。

主な語句・表現

◇ shall I ... は「相手の意志」を尋ねるときに用いる表現。(例) *Shall I* make you a sandwich? (サンドイッチを作ってあげましょうか) *Where shall I* meet you? (どこで会いましょうか)

◇ The one one は corner を受ける代名詞。

◇ farthest 以下は後ろから the one を修飾している。farthest は far の最上級。

問10 10 正解③

放送内容

W : Don't you think it's rained a lot this year?

M : Well it rained a lot last month, but it hasn't rained that much this month.

W : Oh, really?

M : Probably you feel that way because it's been much cooler this month.

Question : Which of the following graphs is correct?

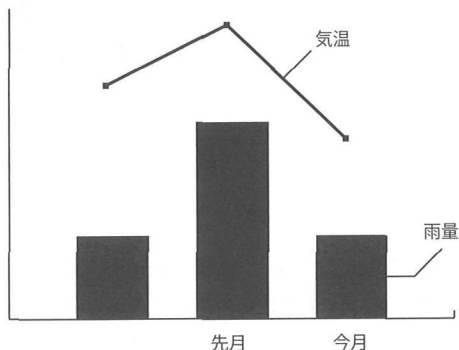
全訳

女性：今年はたくさん雨が降ったと思わない？
男性：まあ先月はよく降ったけど、今月はあまり降ってないよ。
女性：えー、本当？
男性：たぶんそんな風を感じるのは今月の方がずっと涼しいからだよ。

質問：以下のうち正しいグラフはどれか？

設問解説

正解は③。



男性が「先月はよく降ったけど、今月はあまり降っていない」と述べていることから、先月の方が雨量が多かったことを示す、②か③に絞られる。また「今月の方がずっと涼しい」とも述べていることから、③が正解だとわかる。

主な語句・表現

- ◇ that much 「それほど多く」 rained を修飾する副詞句。that は「それほど」の意の副詞で much を修飾している。
- ◇ much cooler 「はるかに涼しい」 much は cooler を修飾し、差がとても大きいことを示している。

問 11 11 正解 ①

放送内容

W : Which activity would you like to do?
M : Definitely, not this one. I'm not good at swimming and I'm afraid of heights.
W : So not this one, either. How about this one?
M : Yeah, that's the one I need to sign up for.

Question : Which activity seems to be the best for the man?

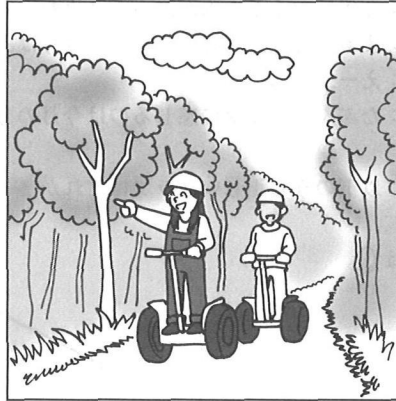
全訳

女性：どのアクティビティをやってみたい？
男性：これは絶対だめだな。泳ぎは得意じゃないし、高いところも怖いし。
女性：じゃ、これもダメね。これはどう？
男性：うん、それが申し込まなきゃいけないヤツだね。

質問：この男性にはどのアクティビティが最適だと思われるか？

設問解説

正解は①。



男性は「『泳ぎ』と『高い所』が苦手」と述べているので、そのいずれの要素も含まない①が正解。

主な語句・表現

- ◇ would you like to - は do you like to - よりも丁寧な言い方。
- ◇ not this one = I [you] would not like to do *this one*.
- ◇ How about ...? 「…はどうですか?」 何かを提案するときに用いる表現。What about ...? でもよい。
- ◇ sign up for ... 「…に申し込む」

第3問

解答

問 12 - ②

問 13 - ①

問 14 - ②

問 15 - ④

問 16 - ③

問 17 - ④

(各3点)

出題のねらい

身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い対話を、場面の情報を参考にしながら聞いて、設問に対する答えを（イラストやグラフではなく）英語で書かれた選択肢から選ぶ問題です。

出典

Original Material

問 12 12 正解 ②

放送内容

M : How about using black and red?

W : Hm, that combination is too common. I think orange would be nice. It is a mixture of red and yellow and has nice meanings like joy and happiness.

M : What great messages the color conveys! Let's use it for our logo.

全訳

男性：黒と赤を使うのはどう？

女性：うーん、その組み合わせはあまりにありふれているわ。オレンジがいいんじゃないかしら。赤と黄色の混合だし、喜びや幸せというようないい意味もあるわ。

男性：その色でなんてすばらしいメッセージが伝わるんだろう！ 僕らのロゴにはそれを使おう。

(質問) 話し手たちはどの色を自分たちのロゴに使うだろうか。

- ① 黒
- ② オレンジ
- ③ 赤
- ④ 黄色

設問解説

正解は ②。

男性が赤と黒の使用を提案したところ、女性がそれを退け、代わりにオレンジを提案している。男性は女性から聞いたオレンジが持つ意味を肯定的にとらえ、それを使おうと言っている。正解は ② になる。

主な語句・表現

◇ How about ...? 「…してはどうか？」 提案・勧誘の表現。

◇ combination 「組み合わせ」

◇ common 「普通の；ありふれた」

◇ mixture 「組み合わせ；混合」

◇ convey ... 「…を伝える」

問 13 13 正解 ①

放送内容

M : Excuse me, but is this 17C? I think this is my seat.

W : Oh yes, it is, but do you mind switching with me? I want to sit next to my daughter.

M : Not at all. What was your seat number?

W : 33A. I really appreciate your kindness.

全訳

男性：すみませんが、こちらは17 Cですか？ 私の席だと思うのですが。

女性：ええ、そうです。でも、私と交換していただいてもいいですか？ 娘の隣に座りたいもので。

男性：かまいませんよ。あなたの座席番号はいくつでしたか？

女性：33 Aです。本当にご親切にありがとうございます。

(質問) 男性はおそらく何をやるだろうか。

- ① 自分の新しい席を探しに行く。
- ② 女性の隣に座る。
- ③ 別の話題に変える。
- ④ 別の飛行機に乗る。

設問解説

正解は①。

Do you mind -ing に対する返答に注意。Do you mind -ing? は「～していただけますか？」と訳されることが多いが、mind は本来「気にする」という意味の動詞。つまり、Do you mind -ing は「～するのを気にしますか」と相手に聞いていることになるので、「～していい時 (= 気にしない時)」は Not at all. (いいえ、気にしません) のように否定の形で答えることになる。一方、「～してほしくない時 (= 気にする時)」は Yes と答えることになるが、実際には I'd rather you didn't. (～しないでいてくれるとうれしい) のような婉曲的な表現が好まれる。

さて、本会話では女性の「(席を) 私と交換するのを気にしますか」という発言に対し男性が Not at all. と答えていることから、男性と女性は席を交換することがわかる。また、男性が女性の座席番号を聞いていることから、男性が次にすることは女性が座ることになっていた席、つまり自分の新しい席を探すことだとわかる。したがって、正解は①となる。

主な語句・表現

- ◇ mind -ing 「～するのをいやに思う [気にする]」
- ◇ switch 「変更する」
- ◇ appreciate ... 「…をありがたく思う；…に感謝する」

問 14 14 正解 ②

放送内容

W : Good morning, Jake. What a lovely day it is today!

M : It's certainly going to be a pleasant day. But why are you still in your pajamas?

W : What do you mean?

M : Don't you have to meet a friend at the airport this morning?

W : Oh, I almost forgot! I'd better hurry!

全訳

女性：おはよう、ジェイク。今日はなんてすばらしい日でしょう！

男性：きっと楽しい1日になるよ。ところで、なぜ君はまだパジャマを着ているんだい？

女性：どういう意味？

男性：今朝は友だちと空港で会わなければならないのではないの？

女性：まあ、危うく忘れるところだったわ！ 急がなきゃ！

(質問) 女性はおそらく次に何をやるだろうか。

- ① 男性にタクシーを呼んであげる。
- ② 着替える。

設問解説

- ③ 友人を車で送ってあげる。
- ④ 空港へ行く。

正解は②。

男性の2番目のセリフと女性の最後のセリフから、女性は友だちと空港で会う約束を危うく忘れるところで、これから出かけるのだとわかる。ただし、男性がその1番目のセリフで「なぜ君はまだパジャマを着ているんだい?」と聞いていたことを踏まえると、女性はまずパジャマから服に着替えて、それから出かけることになる。したがって、女性がこの会話の直後にとる行動は②の「着替える」になる。

主な語句・表現

- ◇ certainly 「確かに; きっと」
- ◇ pleasant 「〈天候が〉よい; 快適な」
- ◇ be in + 〈服など〉 「〈服など〉を着ている」
- ◇ would better - 「-したほうがいい; -すべきだ」
- ◇ hurry 「急ぐ」
- ◇ give ... a ride 「...を〈車など〉に乗せてあげる」

問 15 15 正解④

放送内容

M: This book is due back today, but I'd like to keep it a little longer.

W: Sure, can I see your student ID, please?

M: Here it is.

W: Thanks. Oh, I'm sorry. This book has been requested by someone else. You may borrow it again if you make another request in a week.

全訳

男性: この本は今日が返却期日なのですが、もう少し借りてたいのです。

女性: わかりました。学生証を見せてください。

男性: どうぞ。

女性: どうも。あら、すみません。この本は他の人が予約しています。1週間後に再度予約をすれば、この本をもう一度借りることができます。

(質問) 男性は次に何をするか。

- ① 同じ本を借りる。
- ② 図書館カードを作る。
- ③ 学生証を更新する。
- ④ 本を返却する。

設問解説

正解は④。

男性は1番目のセリフで今日が返却期日の本の貸出期間延長を申し出ている。ところが、女性の最後のセリフによると、その本は他の人から貸出の予約が入っている。「1週間後に別の予約をすれば、この本をもう一度借りることができる」とは、つまり今日は返却して、1週間後に予約を入れることで再度借りられるという意味。したがって、男性が次にとる行動は本の返却手続きになるので、④が正解になる。

①は女性の最後のセリフから、今日は同じ本を借りることができないことがわかるので誤り。②の「図書館カード」と③の「学生証の更新」については何も述べられていないので誤りである。

主な語句・表現

- ◇ due back 「返却期日」
- ◇ Here it is. 「はい、どうぞ」 人に物を渡したり提示したりするときに使う表現。
- ◇ in + 〈期間〉 「〈期間〉の後に」
- ◇ renew ... 「〈免許・契約・会員など〉を更新する」

問 16 16 正解 ③

放送内容

W : George, you're late again.
M : I'm sorry, Ms. Kato. The bus was delayed.
W : That's exactly what you said last Wednesday.
M : I think it was a train delay last time.
W : In the future you should leave home earlier in case of delays.

全訳

女性：ジョージ、また遅刻ね。
男性：すみません、カトウ先生。バスが遅れたんです。
女性：それって、先週の水曜日に君が言ったことと全く同じよ。
男性：前は電車の遅れだったと思います。
女性：今後は、遅れる場合に備えて早めに家を出るべきです。

(質問) 先週の水曜日、ジョージに何が起こったか。

- ① 彼は間違った電車に乗ってしまった。
- ② 彼は授業を休んだ。
- ③ 彼は授業に遅れた。
- ④ 彼のバスが遅れた。

設問解説

正解は ③。

最初の男女のやりとりから、教室内での男子生徒と女性教師の会話だと推測できるが、2番目のセリフで女性は生徒の言い訳が「先週の水曜日でとそっくり同じだ」と言っているので、男子生徒が先週の水曜日にも授業に遅刻したことがわかる。したがって正解は ③ である。

教師の指摘に対して生徒が「前回は電車の遅れだった」と言っていることから、①、④は誤りである。また、先週の水曜日にこのようなやりとりをしたということは、生徒はその日の授業に出席していたはずなので、②も誤りである。

主な語句・表現

- ◇ be delayed 「遅れる」 この delay は他動詞だが、後に出てくる2つの delay は「遅れ」という意味の名詞。
- ◇ in the future 「今後は」
- ◇ in case of ... 「…に備えて」

問 17 17 正解 ④

放送内容

W : I'm so bored.
M : Me, too. Why don't we go to the movies?
W : I don't feel like going out.
M : How about a DVD? Let's watch Star Wars.
W : I saw it last week.
M : Really? OK then ... how about Pirates of the Caribbean?
W : Great! Let's order pizza and eat it while we watch.
M : OK.

全訳

女性：とても退屈だわ。

男性：僕もだ。映画を見に行かない？

女性：出かける気分ではないわ。

男性：それじゃ、DVDはどう？ スター・ウォーズを見ようよ。

女性：それは先週見たわ。

男性：本当？ うーん…それじゃパイレーツ・オブ・カリビアンはどう？

女性：いいわね！ ピザを注文して、見ながら食べましょうよ。

男性：OK。

(質問) 女性が「スター・ウォーズ」を見たくないのはなぜか。

- ① 彼女はそれがあまり好きではない。
- ② 彼女はDVDを見られないほど疲れている。
- ③ 彼女は映画を見に行きたい。
- ④ 彼女はごく最近それを見た。

設問解説

正解は④。

退屈に感じている男女が室内で会話をしているようである。「スター・ウォーズのDVDを見るのはどうか？」という男性の2つ目の提案に対し、女性は3番目のセリフで、「それは先週見た」と応答している。したがって④が正解である。

①, ②のような発言を女性はしていない。③は女性が2番目のセリフで「出かける気分ではない」と言っていることから、誤りである。

主な語句・表現

◇ Why don't we ...? 「…しないか？」 勧誘の表現。

第4問

解答

A 問 18 ~ 21	18 ④	19 ③	20 ①	21 ②	(完答で4点)
問 22 ~ 25	22 ①	23 ②	24 ④	25 ⑤	(各1点)
B 問 26 - ②					(4点)

出題のねらい

A 問 18 ~ 21 では 100 語程度の英文、そして問 22 ~ 25 では 70 語程度の英文を聞いて、図表を完成させることを通じて、話し手の意図を把握する力を問う問題です。

出典

Original Material

問 18 ~ 21 正解 18 ④ 19 ③ 20 ① 21 ②

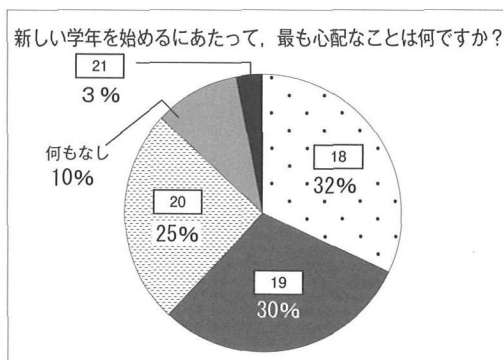
放送内容

A grade of junior high school students were asked to answer the following question: What worries you most about starting a new school year? They had to choose between "appearance," "club activities," "making friends," "schoolwork," and "nothing." Only around one tenth of students didn't worry about anything and few worried about joining "club activities." The most students worried about "schoolwork," and exactly one quarter of students who responded said that they were concerned about their "appearance." Almost as many students who worried about "schoolwork" worried about "making friends."

全訳

ある学年の中学生たちが以下の質問に答えるよう求められた。その質問とは、新しい学年を始めるにあたって、最も心配なことは何ですか、というものだった。中学生たちは「外見」と「クラブ活動」と「友だち作り」と「学校の勉強」と「何もしない」の中から選ばなければならなかった。何も心配することがなかったのは生徒たちの約10分の1だけであり、「クラブ活動」への参加を心配した生徒はほとんどいなかった。「学校の勉強」を心配した生徒が最も多く、質問に答えた生徒たちのうち「外見」について心配していると語った生徒はちょうど4分の1だった。「学校の勉強」を心配する生徒とほぼ同じぐらいの生徒が「友だち作り」に関して心配していた。

設問解説



第3文後半で「『クラブ活動』への参加を心配した生徒はほとんどいなかった」と述べられていることから、3%を示している21には② Club activitiesが入る。続く第4文前半に「『学校の勉強』を心配した生徒が最も多く」とあるので、円グラフの中で最大の割合である32%を示す18には④ Schoolworkが入り、第4文後半では「質問に答えた生

徒たちのうち『外見』について心配していると語った生徒はちょうど4分の1だった」と述べられていることから、25%という「ちょうど4分の1」の割合を示している[20]には① Appearanceが入ることになる。最後に、最終文に「『学校の勉強』を心配する生徒とほぼ同じぐらいの生徒が「友だち作り」に関して心配していた」とあることから、32%とほぼ同じぐらいの割合である30%を示す[19]には③ Making friendsが入る。このように、almost という副詞は「ほとんど」という意味だが、「もう少しというところであるレベルに達していない状態」を表している。(例) It's *almost* five o'clock.「あと少しで5時だ」

主な語句・表現

- ◇ grade 「(小・中・高等学校の) 学年」
- ◇ be asked to - 「-するように求められる」
- ◇ worry 「…を心配させる」
- ◇ choose between ... 「…から選ぶ」
- ◇ one tenth of ... 「…の10分の1」
- ◇ worry about ... 「…について心配する」
- ◇ exactly 「正確に；ちょうど」
- ◇ one quarter of ... 「…の4分の1」
- ◇ who responded は直前の students を先行詞とする関係代名詞節。
- ◇ respond 「答える；返答する」
- ◇ be concerned about ... 「…について心配している」
- ◇ who worried about “schoolwork” は直前の many students を先行詞とする関係代名詞節。
- ◇ as many ... 「同数の」 (例) In the summer of 2019, 287 students from this high school left for a three-day trip, while *almost as many* students — 271 — did not make the trip. 「2019年の夏には、この高校の287人の生徒が3日間の旅行に出たが、ほぼ同じ数の生徒—271人—は旅行に出かけなかった」

問 22 ～ 25 正解 [22] ① [23] ② [24] ④ [25] ⑤

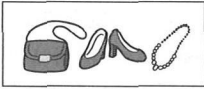
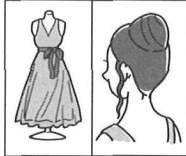
放送内容

We've decided to charge lower fees for some of our options. I want you to type in the new fees to complete this new ad. First, the fee for renting a dress only will be two hundred dollars, and a dress with hairstyling only will be three hundred dollars. Also, a bag, a pair of shoes, and any accessory will be twenty dollars each, or fifty dollars for three or more rented at once.

全訳

私たちはオプションの一部の料金を下げることに決めました。この新しい広告を完成させるのに新しい料金を打ち込んでもらいたいと思います。まず、ドレスのみをレンタルする場合の料金は200ドルで、ドレスのレンタルとヘアスタイリングのみの場合は300ドルになります。また、鞆、靴1足、およびアクセサリーはどれでも、1つあたり20ドルか、3つ以上同時にレンタルした場合は50ドルになります。

① 200ドル ② 250ドル ③ 260ドル ④ 300ドル ⑤ 320ドル

	オプション	料金
ドレス 	ドレスのみ	22
	鞆+靴+ネックレスを追加 	23
ドレス + ヘアスタイリング 	ドレス + ヘアスタイリングのみ	24
	ヘアアクセサリーを追加 	25

設問解説

22 正解①

第3文 (First, the fee ...) で First, the fee for renting a dress only will be two hundred dollars 「まず、ドレスのみをレンタルする場合の料金は200ドル」と述べられているので ①200ドルが正解。

23 正解②

この設問には注意が必要。第4文 (Also, a bag, ...) の前半では Also, a bag, a pair of shoes, and any accessory will be twenty dollars each 「また、鞆、靴1足、およびアクセサリーはどれでも、1つあたり20ドル」と述べられているが、同文の後半では or fifty dollars for three or more rented at once 「あるいは、3つ以上同時にレンタルした場合は50ドル」と述べられている。つまり、鞆、靴、およびネックレスの3点をレンタルする料金は $20 \text{ ドル} \times 3 \text{ 点} = 60 \text{ ドル}$ ではなく、50ドルとなる。このことと第3文 (First, the fee ...) で First, the fee for renting a dress only will be two hundred dollars 「まず、ドレスのみをレンタルする場合の料金は200ドル」と述べられていることを合わせると、200ドルに50ドルを加えた ②250ドルが正解となる。

24 正解④

第3文 (First, the fee ...) の後半で a dress with hairstyling only will be three hundred dollars 「ドレスのレンタルとヘアスタイリングのみの場合は300ドル」と述べられているので、④300ドルが正解。

25 正解⑤

第3文 (First, the fee ...) の後半で a dress with hairstyling only will be three hundred dollars 「ドレスのレンタルとヘアスタイリングのみの場合は300ドル」と述べられていることと、第4文 (Also, a bag, ...) で Also, a bag, a pair of shoes, and any accessory will be twenty dollars each 「また、鞆、靴1足、およびアクセサリーはどれでも、1つあたり20ドル」と述べられていることから、ドレスとヘアスタイリングの300ドルにヘアアクセサリーの20ドルを加えた ⑤320ドルが正解となる。

主な語句・表現

- ◇ charge ... 「… (= 料金) を請求する」
- ◇ lower 「より低い」 low の比較級。
- ◇ fee 「料金」

- ◇ option 「オプション；付属品；選択可能なもの」
- ◇ type ... in [in ...] 「…を打ち込む」
- ◇ complete ... 「…を完成させる」
- ◇ ad = advertisement 「広告」
- ◇ first 「まず；はじめに」
- ◇ dress 「ドレス」
- ◇ 〈名詞〉 + only 「〈名詞〉のみ」
- ◇ hundred 「百」
- ◇ dollar 「ドル」 多くの国での通貨単位。
- ◇ hairstyling 「ヘアスタイリングを行うこと；ヘアセット」
- ◇ a pair of ... 「(2つ) 1組の…」
- ◇ accessory 「アクセサリー」
- ◇ 〈名詞〉 + each 「各〈名詞〉」
- ◇ 〈数〉 or more 「〈数〉以上」 (←〈数〉またはそれより多く)
- ◇ at once 「一度に；同時に」

出題のねらい

B 全体で 190 語程度からなる複数の情報を聞いて、それを比較して、最も条件に合う留学先を選ぶ問題です。英語の非母国語話者が登場するのもこの問題の特徴の一つです。

出典

Original Material

問 26 26 正解 ②

放送内容

- 1 I recommend Scotland. At the school I went to, for example, we were able not only to take various language courses, but also to learn about Scotland's traditional culture. Some English courses are taught by teachers who speak Japanese, so even beginners can learn a lot. You can stay one month or more.
- 2 You should come to the United States. Our school holds events every week that give you opportunities to interact with American students. You can stay a month or more. There are also a lot of tours of historic sites, so you can get a deeper understanding of the country.
- 3 You should come to Australia. Since we have students from all over the world, you'll be able to learn about many different cultures. Also, during our weekend parties, you can have fun with Australian students. The program lasts two months.
- 4 I recommend Canada. The local students will help you learn English. You'll surely make friends with some of them. Also, you can go to local festivals on weekends, so you'll have a chance to learn about the local culture. You can stay up to three weeks.

全訳

- 1 スコットランドをお勧めします。たとえば、私が通っていた学校では、様々な語学講座を受講できるだけでなく、スコットランドの伝統文化について学ぶこともできました。英語講座の中には、日本語を話す教師が教えるものもあるため、初学者でも多くのことを学ぶことができます。1 か月以上滞在できます。

2 アメリカに来るべきです。私たちの学校では、アメリカの学生と交流する機会を提供するイベントを毎週開催しています。1か月以上滞在できます。また、史跡を巡るツアーもたくさんありますので、この国についてより深く理解することができます。

3 オーストラリアに来るべきです。世界中から学生が集まるため、多様な文化について学ぶことができます。また、週末のパーティーでは、オーストラリアの学生たちと楽しい時間を過ごすことができます。プログラムは2か月続きます。

4 カナダをお勧めします。地元の学生が英語を学ぶお手伝いをしてくれます。きっと彼らの中の何人かと友だちになれるでしょう。また、週末に地元のお祭りに行くことができるので、地元の文化について学ぶ機会があります。最大で3週間滞在できます。

① スコットランド

② アメリカ合衆国

③ オーストラリア

④ カナダ

設問解説

① 不正解。

留学先として「スコットランド」を紹介している。担当者から、留学内容として4つの情報が提示されている。第1に、「様々な語学講座が受講できる」である。第2に、「伝統文化を学ぶことができる」であるが、これはAの条件（留学先の伝統文化体験）に当てはまる。第3に、「日本語を話す教師が指導してくれる英語の講座もあるため、初學者でも多くのことを学べる」である。最後に、「1か月以上の滞在が可能」とあるが、これはCの条件（1か月以上の滞在）に当てはまる。以上より、Bの条件（地元学生との交流）が欠けているため、不正解である。

② 正解。

留学先として「アメリカ合衆国」を紹介している。担当者から、留学内容として3つの情報が提示されている。第1に、「アメリカの学生と交流できる」であるが、これはBの条件（地元学生との交流）に当てはまる。第2に、「1か月以上の滞在が可能」であるが、これはCの条件（1か月以上の滞在）に当てはまる。最後に、「史跡巡りのツアーを通じてこの国を深く学べる」であるが、これはAの条件（留学先の伝統文化体験）に当てはまる。以上より、すべての条件を満たすため、正解である。

③ 不正解。

留学先として「オーストラリア」を紹介している。担当者から、留学内容として3つの情報が提示されている。第1に、「世界中から来る学生を通じて多様な文化を学べる」であるが、これはAの条件にある「その国の伝統文化に広く触れられる」とは合致しない。第2に、「パーティーでオーストラリアの学生たちと楽しめる」であるが、これはBの条件（地元学生との交流）に当てはまる。最後に、「プログラムは2か月続く」とあり、これはCの条件（1か月以上の滞在）に当てはまる。以上より、Aの条件（留学先の伝統文化体験）が欠けているため、不正解である。

④ 不正解。

留学先として「カナダ」を紹介している。担当者から、留学内容として3つの情報が提示されている。第1に、「地元の学生が英語学習を手伝ってくれるうえ、そうした学生と友だちになれる」とあり、これはBの条件（地元学生との交流）に当てはまる。第2に、「お祭りに参加して地元の文化に触れられる」であるが、これはAの条件にある「その国の伝統文化に広く触れられる」とは合致しない。最後に、「最大3週間滞在が可能」であるが、これはCの条件（1か月の滞在）には当てはまらない。以上より、AとCの条件が欠けているため、不正解である。

主な語句・表現

[放送内容]

- ◇ recommend ... 「…を推薦する」
- ◇ not only ... but also ~ 「…ばかりでなく～も」
- ◇ various 「様々な」
- ◇ course 「講座」
- ◇ traditional 「伝統的な」
- ◇ culture 「文化」
- ◇ even 「(で) さえ」
- ◇ beginner 「初学者」
- ◇ a lot 図 「たくさんのこと [もの]」
- ◇ or more 「あるいはそれ以上」
- ◇ hold ... 「(会・式など) …を催す [開く]」
- ◇ opportunity 「機会」
- ◇ interact with ... 「…とふれ合う」
- ◇ tour 「旅行；見学」
- ◇ historic 「歴史上重要な [有名な]」
- ◇ site 「場所；遺跡」
- ◇ deep 「深い」 英文中では deeper (より深い) と比較級になっている。
- ◇ understanding 「理解」
- ◇ since + S + V ... 「…だから」
- ◇ have fun 「楽しむ；楽しく遊ぶ」
- ◇ program 「プログラム；学習課程」
- ◇ last 「続く」
- ◇ local 「その土地の」
- ◇ help + O + (to) - 「Oが～するのを手伝う [助ける]」 to は省略可能。
- ◇ surely 「確かに；必ず」
- ◇ make friends with ... 「…と友だちになる」
- ◇ festival 「お祭り」
- ◇ chance 「機会」
- ◇ up to ... 「(最高) …まで」

[表]

- ◇ interaction 「(人の) ふれ合い」
- ◇ length 「長さ；全期間」

第5問

解答

問 27 - ④			(3点)
問 28 ~ 31	28 ②	29 ④	(完答で2点)
	30 ①	31 ④	(完答で2点)
問 32 - ④			(4点)
問 33 - ①			(4点)

出題のねらい

320 語程度の社会的な話題に関する講義を聞いて（今回は「自然災害と人間社会の関わり」がテーマ）、ワークシートを完成させたり、内容一致問題に答えることを通じて、概要や要点をとらえる力を問う問題です。さらには問 33 では、聞き取った情報と、図表から読み取る情報を組み合わせて判断する力が問われています。

出典

(参考) *ResearchGate* (November 2015)

放送内容

[講義]

When you hear the phrase “natural disaster,” you may think it is something you cannot avoid. But is this really true? The number of people affected by natural disasters in the world declined from approximately 4.3% to 2.6% of the population during the years from 1994 to 2013. Probably measures such as earlier warning systems contributed to the prevention of serious disasters.

On the other hand, when we turn our eyes to poorer countries, things are quite different. Natural hazards are far more likely to become deadly disasters when they happen in vulnerable areas where people have few defenses. Just compare the 2010 Haiti earthquake, which had more than 200,000 victims and the Chilean earthquake a few weeks later, which had fewer than 500. Or consider that the number of victims of hurricanes, storms and floods in Haiti is more than ten times as high as in the Dominican Republic, a rich neighbor of Haiti.

The governments of poor nations usually cannot afford to take effective measures against natural hazards. However, if the government focuses on disaster prevention, the number of victims will surely be reduced. One good example is Peru, which succeeded in reducing the number of deaths from the El Niño that started in 2014 to only twenty. Just compare that number to the total of 9,300 lives lost during the El Niño that started in 1982 and the El Niño that started in 1997.

Unfortunately people in poor countries are often creating further threats to their environment when they burn land for farming or cut down trees in the forests. That may also help to increase the share of climate-related disasters in the whole of natural disasters.

[講義 (続き)]

Let's look at the data about the changes in the number of disasters by major category. You'll find geophysical disasters caused by earthquakes or volcanic activities almost remained at the same level. However, disasters caused by drought, extreme temperature, floods and wildfires increased.

[講義]

「自然災害」という言葉を聞くと、皆さんはそれは何か避けることができないものと考えられるかもしれません。でもこれは本当に真実でしょうか？ 世界で自然災害の影響を受ける人々の数は1994年から2013年の間に人口のおよそ4.3%から2.6%に減少しています。おそらく早めの警報システムといった対策が重大な災害の予防に役立ったのでしょう。

他方、より貧しい国々に目を向けると事態は全く異なります。自然災害は、人々が防御手段をほとんど持たない災害に対し脆弱な地域で起こると、壊滅的な大災害になる可能性がはるかに高くなるのです。20万人を超える犠牲者を出した2010年のハイチの地震と、その数週間後に起き、500人未満の犠牲者しか出さなかったチリの地震を比べてみてください。あるいは、ハイチにおけるハリケーンや、嵐、洪水による犠牲者数が、豊かな隣国であるドミニカ共和国の10倍を超えることを考えてみてください。

貧しい国々の政府は自然災害に対して有効な手段を講じる余裕がないのが常なのです。しかしながら、もし政府が災害予防に注力するなら、犠牲者の数は確実に減少するでしょう。そのよい例がベルーで、2014年に始まったエルニーニョに起因する死者数をわずかに20人に減らすことに成功しました。その数を、1982年に始まったエルニーニョおよび1997年に始まったエルニーニョで亡くなった犠牲者の総数9,300人と比べてみてください。

残念ながら、貧しい国々の人々が農業のために土地を焼いたり、森林の木を伐採したりすると、環境に対するさらなる脅威を生んでいることが多いのです。それがまた、自然災害全体における気象関連の災害の割合を高める一因になるかもしれません。

[講義 (続き)]

主要なカテゴリー別の災害件数の変化を示すデータを見てください。地震や火山活動のような地球物理的な要因による災害はほぼ同じ水準のままです。しかし、干ばつや極端な気温、洪水、山火事によって引き起こされる災害は増えています。

設 問 解 説

問27～31はワークシートの空欄を補う問題である。ワークシートは講義を聞きながら取るメモのようなものなので、完全な文で書かれてはいない。メモの意味を考えながら、講義の内容と合致するように言葉を補っていかねばならない。

[ワークシート]

○ 自然災害の影響を受けた人の割合の変化

1994年：人口の□%

影響を受けた人の数

= 全体的な結果： 27

2013年：人口の□%

○ 貧困が自然災害に及ぼす影響

比較される国	災害の種類	犠牲者数
ハイチ対チリ	28	ハイチ=チリより400倍 29
ハイチ対ドミニカ共和国	30	ハイチ=ドミニカ共和国より10倍以上 31
ベルー 1982年からおよび1997年から対ベルー 2014年から	気象関連の災害	2014年から=1982年からおよび1997年からよりはるかに少ない

問 27 27 正解 ④

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 0.7%の増加 | ② 0.7%の減少 |
| ③ 1.7%の増加 | ④ 1.7%の減少 |
| ⑤ 2.7%の増加 | ⑥ 2.7%の減少 |

正解は④。

講義の第1段落第3文(The number of ...)で、「世界で自然災害の影響を受ける人々の数は1994年から2013年の間に人口のおよそ4.3%から2.6%に減少している」と言われていることから、この間の変動は「1.7%の減少」ということになる。

問 28～31 正解 28 ② 29 ④ 30 ① 31 ④

- ① 気象関連の災害 ② 地震 ③ より少ない ④ より多い

ワークシートにある表の1行目ではハイチとチリが比較されている。講義の第2段落第3文(Just compare the ...)でこの両国への言及があり、「20万人を超える犠牲者を出した2010年のハイチの地震」と「500人未満の犠牲者しか出さなかったチリの地震」が比較されている。したがって、災害の種類として 28 には②の「地震」が入る。また、犠牲者数の欄は、 29 に④の「より多い」を入れて「ハイチ＝チリより400倍多い」とすればよい。

表の2行目ではハイチとドミニカ共和国が比較されているが、講義の中では、第2段落最終文(Or consider that ...)でこの両国への言及がある。比較されている災害は、「ハリケーン、嵐、洪水」で、これらは「気象関連の災害」と言えるので、 30 には①が入る。また、同文でハイチの犠牲者数が「ドミニカ共和国の10倍を超える」と述べられていることから、 31 には④を入れて、「ハイチ＝ドミニカ共和国より10倍以上多い」とすればよい。

問 32 32 正解 ④

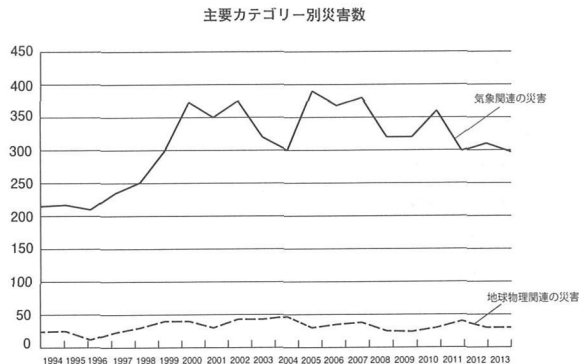
- ① 技術の進歩によって私たちは近い将来自然災害を克服することができるだろう。
② 気象関連の災害は他の自然災害ほど深刻ではない。
③ 人間の活動が主に自然に害を与えてきた。
④ 人間は一部の自然災害により生じる被害を減少させることに成功してきた。

正解は④。

まず話し手は第1段落第3文(The number of ...)で、「世界で自然災害の影響を受ける人々の数は1994年から2013年の間に減少している」という事実を示している。さらに、第3段落では、エルニーニョによる犠牲者数を劇的に減らすことに成功したペルーの例も紹介されている。これらのことから④が正しい。

①のようなことは講義の中で述べられていない。②は最終段落で述べられている話し手の「気象関連災害の割合が高まることへの懸念」と矛盾する。また、貧しい国々における焼き畑農業や森林伐採への言及はあるものの、人間の活動全般が自然に害をおよぼしていると言っているわけではないので③も誤りである。

問 33 33 正解 ①



- ① 自然災害の件数の中で気象関連の災害が占める割合がより高くなるだろう。
- ② 自然災害によって生じる被害を減少させるためにより多くのお金を費やすべきである。
- ③ 地球物理的な災害の数は確実に減少するだろう。
- ④ 気象関連の災害による犠牲者数は確実に増加するだろう。

正解は①。

グラフを見ると、気象関連の災害の数は年ごとの増減はあるにしても、1994年当時と比較すると増加している。また、続きの講義の中で「干ばつや極端な気温、洪水、山火事によって引き起こされる災害は増え続けている」と言われていることを考慮すると、①が正しい。

被害を減らすための費用の問題は、講義でもグラフでも取り上げられていないので②は誤り。地球物理的な要因による災害の数は大きな変化がなく推移しており、講義の中でも、「地震や火山活動のような地球物理的な要因による災害はほぼ同じ水準のままだ」と述べられている。したがって③も誤りである。グラフの示しているのは犠牲者数ではなく災害件数であり、前半の講義で自然災害による犠牲者数の数が減少していると言われていることを考えると、④も誤りである。

主な語句・表現

〔講義〕

- ◇ natural disaster 「自然災害」
- ◇ decline 「減少する」
- ◇ approximately 「おおよそ」
- ◇ warning system 「警報システム」
- ◇ contribute to ... 「…に貢献する」
- ◇ turn one's eyes to ... 「…に目を向ける」
- ◇ hazard 「危険；危険を引き起こすもの」
- ◇ deadly 「致命的な」
- ◇ vulnerable 「傷つきやすい；もろい」
- ◇ defense 「防御策」
- ◇ Haiti ㊦ 「ハイチ」 ㊦ 「ハイチの」
- ◇ Chilean ㊦ 「チリの」 名詞形は Chile。
- ◇ Dominican Republic 「ドミニカ共和国」
- ◇ can afford to - 「-する余裕がある」
- ◇ effective 「効果的な」
- ◇ prevention 「予防策」

[講義 (続き)]

- ◇ reduce ... 「…を減らす」
- ◇ further 「さらなる；それ以上の」
- ◇ threat 「脅威」
- ◇ climate-related disaster 「気象に関連した災害」

[ワークシート]

- ◇ category 「種類；範疇」
- ◇ geophysical 「地球物理学的な；地球物理に関わる」
- ◇ volcanic activity 「火山活動」
- ◇ drought 「干ばつ」
- ◇ extreme 「極端な」
- ◇ wildfire 「山火事；野火」

[設問]

- ◇ affect ... 「…に影響する」
- ◇ overall 「全体的な；総合的な」
- ◇ increase 「増加」 ここでは名詞。
- ◇ decrease 「減少」 ここでは名詞。
- ◇ advancing 「発展を続ける」
- ◇ enable ... to - 「…が…できるようにする」
- ◇ conquer ... 「…を克服する」
- ◇ account for ... 「(全体の) …を占める」

第6問

解答

A 問 34 - ③	問 35 - ①	(各 3 点)
B 問 36 - ③	問 37 - ④	(各 4 点)

出題のねらい

A 学生が遭遇する可能性が十分にある状況に関わる 140 語程度の会話を聞いて、話者の発言の要点を選ぶことを通じ、必要な情報を把握する力を問う問題です。今回の問題では、就職活動の面接試験において物事を誇張して語ることの是非が論じられています。

出典

Original Material

問 34 34 正解 ③ 問 35 35 正解 ①

放送内容

[設問解説のために、通し番号をふってあります]

- ① Emily : How did your job interview go, Takeshi?
- ② Takeshi : It went okay, Emily. But perhaps I won't get the job.
- ③ Emily : What makes you say that?
- ④ Takeshi : The other students gave much better presentations than I did. They all had such interesting stories about their experiences. Compared to theirs, my life sounded very boring.
- ⑤ Emily : I see. Some people talk about themselves really interestingly, don't they?
- ⑥ Takeshi : Yeah. In reality, their lives aren't so exciting, but they talk as if they were. It's a kind of cheating. It's not fair.
- ⑦ Emily : I don't agree with you. Everyone exaggerates things. But it's different from lying.
- ⑧ Takeshi : I think exaggeration is a kind of lying. It's not acceptable, especially in job interviews.
- ⑨ Emily : But there're no records left about what you do or say every day in your life. So, who can tell if you're exaggerating or not, anyway?

全訳

- ① エミリー：就活の面接はどうだったの、タケシ？
- ② タケシ：大丈夫だったよ、エミリー。でもおそらくそこには採用されないだろうな。
- ③ エミリー：どうしてそう思うの？
- ④ タケシ：他の学生たちのプレゼンの方が僕のよりずっと良かったんだよ。自分の経験について皆すごくおもしろい話をしてたんだ。それに比べると、僕の人生はとても退屈そうだったね。
- ⑤ エミリー：なるほどね。自分のことを本当におもしろく話す人たちっているよね？
- ⑥ タケシ：うん。現実にはそれほどエキサイティングな人生ではないのにね、まるでそうであるかのように語るわけさ。一種のズルだよ。フェアじゃないね。
- ⑦ エミリー：私はあなたとは考え方が違うわね。誰でも物事を大げさに言うものよ。でもそれって嘘をつくのとは違うでしょ。
- ⑧ タケシ：誇張は一種の嘘だと僕は思うけどなあ。そんなのダメだよ。特に就活の面接ではさ。
- ⑨ エミリー：でも毎日の生活で人がしたり言ったりすることって、何の記録も残っていないでしょ。だったら、どっちにしても、人が大げさな話をしているかどうかって誰にわかるわけ？

問34 (質問) エミリーの主張の中心は何か。

- ① よい仕事を探すことに価値があるのかどうかは誰にもわからない。
- ② 話術の伸ばし方は誰にもわからない。
- ③ 我々は皆完全に正確とは言えないことを口にする。
- ④ 我々は皆他者が自分に言うことを信じる傾向がある。

正解は③。

セリフ⑦で、エミリーは「誰でも物事を大げさに言うものよ」と述べていることから、正解は③。他の選択肢は、いずれもエミリーのセリフの中にそれらに該当する表現は含まれず、誤り。

問35 (質問) タケシはみんながどうするべきだと信じているか。

- ① 就職活動の面接では物事を正確に述べる。
- ② 就職活動の面接はできるだけ多数受ける。
- ③ 就職活動の面接ではゆっくりはっきり話す。
- ④ 就職活動の面接の準備には十分な時間をかける。

正解は①。

セリフ⑦でエミリーが「誰でも物事を大げさに言うものよ。でもそれって嘘をつくのとは違うでしょ」と述べたのに対して、タケシはセリフ⑧で「誇張は一種の嘘だと僕は思うけどなあ。そんなのダメだよ。特に就活の面接ではさ」と応答しており、「就職活動の面接では物事を誇張して語るべきではなく、正確に語るべきだ」とタケシが考えていることがわかる。よって、正解は①。他の選択肢は、いずれもタケシのセリフの中に該当する表現は含まれず、誤り。

主な語句・表現

- ◇ How did ... go? 「…はどうだったか」
- ◇ job interview 「就職活動の面接」
- ◇ go okay 「順調に進む」
- ◇ What makes you - ? 「どうして-するのか」
- ◇ presentation 「口頭発表；プレゼンテーション」
- ◇ experience 「経験」
- ◇ compared to ... 「…と比べると」
- ◇ sound ... 「〈話の内容が〉…のように聞こえる」
- ◇ I see. 「なるほど」
- ◇ in reality 「現実には」
- ◇ as if ... 「まるで…であるかのように」 as if の節内では仮定法が使われることが多い。ここでは were が仮定法過去を表している。
- ◇ a kind of ... 「一種の…」
- ◇ cheating 「不正行為；ズル」
- ◇ fair 「公平な；フェアな」
- ◇ agree with ... 「…と同意見である」
- ◇ exaggerate 「…を大げさに言う；…を誇張する」
- ◇ things 「物事」
- ◇ lying 「嘘をつくこと」
- ◇ exaggeration 「大げさな物言い；誇張」

- ◇ acceptable 「容認可能な；許容できる」
- ◇ record 「記録」
- ◇ can tell if ... 「…かどうか言うことができる；…かどうかわかる」
- ◇ anyway 「いずれにせよ；どっちにしても」
- ◇ it is worth -ing 「-する価値がある」
- ◇ look for ... 「…を探す」
- ◇ improve 「…を向上させる；…を伸ばす」
- ◇ talking skill 「話術」
- ◇ not ... perfectly 「完璧に…というわけではない」 部分否定を表す。
- ◇ accurate 「正確な」
- ◇ tend to - 「-する傾向がある」
- ◇ describe 「…を述べる；…を説明する」
- ◇ accurately 「正確に」
- ◇ prepare for ... 「…の準備をする」

出題のねらい

B 200 語程度の会話や議論を聞いて、それぞれの話者の立場を判断する問題です。さらに、意見を支持する図表を選ぶことを通じて、必要な情報を統合し、要点を整理、判断する力が問われています。

出典

Original Material

問 36 36 正解 ③ 問 37 37 正解 ④

放送内容

[設問解説のために、通し番号をふってあります]

- ① Dominic : Watch out Kylie! Sorry, I didn't notice that car coming. It was so quiet!
- ② Kylie : Yeah, it was an electric vehicle. Get used to the lack of noise, Dominic. In the future we'll all drive them!
- ③ George : Seriously, Kylie? They can't travel far at one time, and it takes ages to recharge them.
- ④ Kylie : But George, they're fantastic for the environment. That's a major concern right now! Don't you think so, Ella?
- ⑤ Ella : True, but electric cars are far more expensive than ordinary ones.
- ⑥ Kylie : Correct, but ...
- ⑦ George : Hey guys, they're boring! There really isn't much choice on the market.
- ⑧ Dominic : The number of electric car companies is growing rapidly. With governments pushing for greener products, they probably make a comfortable profit.
- ⑨ George : Really? I didn't know that, Dominic.
- ⑩ Kylie : They don't require much work, George, so therefore they are cheaper to maintain.
- ⑪ Ella : But Kylie, I hardly ever see charging stations. How inconvenient!
- ⑫ Dominic : More will appear, though, Ella. On some busy American highways, not only full cars but also electric cars can drive in a special lane during rush hour to avoid traffic jams!
- ⑬ George : That's cool! I guess we have to move with the times. Gasoline will not last forever, unfortunately!
- ⑭ Ella : Wait and see. Scientists will definitely find a more efficient alternative fuel.

全訳

- ①ドミニク：気をつけて、カイリー！ ごめん、あの車が来ているのに気がつかなかった。ほとんど音がしなかった！
- ②カイリー：そうね、あれは電気自動車だったわね。音がしないことに慣れなきゃね、ドミニク。将来はみんな電気自動車を運転することになるのよ！
- ③ジョージ：正気かい、カイリー？ 電気自動車じゃ一度に遠くまで行くことができないし、充電するにもすごく時間がかかるよ。
- ④カイリー：でもねジョージ、電気自動車は環境にとってもいいのよ。今はそれが主な関心事でしょ！ エラ、そう思わない？
- ⑤ エラ：それは確かだけど、電気自動車は普通の車よりはるかに値段が高いのよ。
- ⑥カイリー：その通りだけど…
- ⑦ジョージ：なあみんな、電気自動車なんかつまらないって！ 実際の話、市場での選択の余地はそれほど多くないんだ。
- ⑧ドミニク：電気自動車の企業数は急速に増えている。政府がより環境にやさしい製品を求めているから、おそらくそうした企業は十分な利益を上げているだろう。
- ⑨ジョージ：本当？ それは知らなかったよ、ドミニク。
- ⑩カイリー：ジョージ、電気自動車は多くの仕事を必要としないから、維持費もより安く済むのよ。
- ⑪ エラ：でもカイリー、充電スタンドはめったに見かけないわよ。なんて不便なの！
- ⑫ドミニク：けど、もっと増えてくるよ、エラ。アメリカの一部の混雑した幹線道路では、交通渋滞を避けるために、ラッシュアワーには満員の車だけでなく電気自動車も特別車線を走ることができるんだよ。
- ⑬ジョージ：それ最高！ 思うに、僕たちは時代とともに動いていかなければならない。残念だが、ガソリンはいつまでも続かないだろう。
- ⑭ エラ：少し様子を見ることね。科学者はきっともっと効率のいい代わりの燃料を見つけ出すわよ。

設問解説

問 36 36 正解 ③

正解は③。

ドミニクは2回目の発言で「電気自動車の企業数は急速に増えている。政府がより環境にやさしい製品を求めているから、おそらくそうした企業は十分な利益を上げているだろう」と、さらに3回目の発言で、充電スタンドはめったに見かけない、というエラの非難を受けて「けど、(充電スタンドは)もっと増えてくるよ、エラ。アメリカの一部の混雑した幹線道路では、交通渋滞を避けるために、ラッシュアワーには満員の車だけでなく電気自動車も特別車線を走ることができるんだよ」と電気自動車を製造する企業や電気自動車に対する社会の対応に肯定的なことを述べているので、ドミニクは将来すべての車が電気によって動くようになるだろうと感じている、と推測できる。

カイリーは2回目の発言で「電気自動車は環境にとってもいいのよ。今はそれが主な関心事でしょ！」と、さらに3回目の発言で「電気自動車は多くの仕事を必要としないから、維持費もより安く済むのよ」と電気自動車の長所を強調しているので、カイリーは将来すべての車が電気によって動くようになるだろうと感じている、と判断できる。

ジョージは1回目と2回目の発言で、電気自動車のバッテリーと市場での選択の幅に関し否定的な意見を述べているが、ラッシュアワーには電気自動車が特別車線を走ることができる幹線道路もあるというドミニクの3回目の発言を聞いた途端、4回目の発言で「それ最高！ 思うに、僕たちは時代とともに動いていかなければならない。残念だが、ガソリンはいつまでも続かないだろう」と一転して電気自動車賛成派となる。よってジョージは最後には将来すべての車が電気によって動くようになるだろうと感じている、と判断で

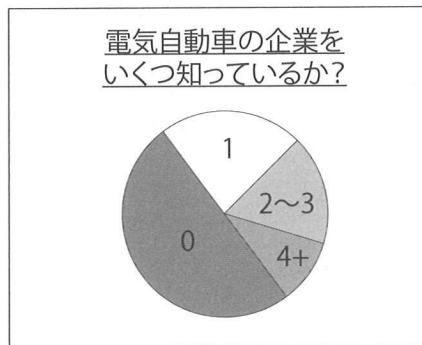
きる。

エラは1回目の発言では「電気自動車は普通の車よりはるかに値段が高いのよ」と、2回目の発言では「充電スタンドはめったに見かけないわよ。なんて不便なの!」、さらに3回目の発言でも「少し様子を見ることね。科学者はきっともっと効率のいい代わりの燃料を見つけ出すわよ」と終始一貫して最後まで電気自動車に対して否定的な発言を繰り返している。したがって、エラが将来すべての車が電気によって動くようになるだろうと感じている、とは到底思われない。

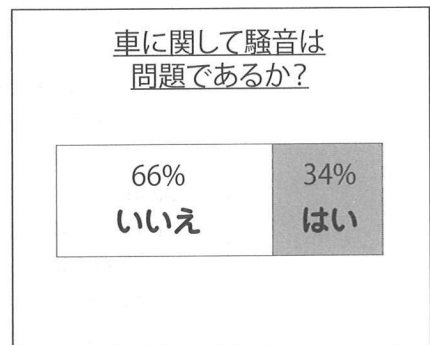
以上のことから、正解はドミニクとカイリーとジョージの3人となる。

問 37 37 正解 ④

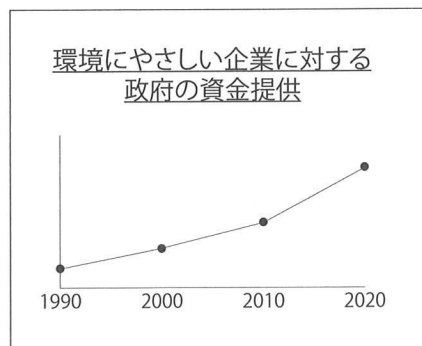
①



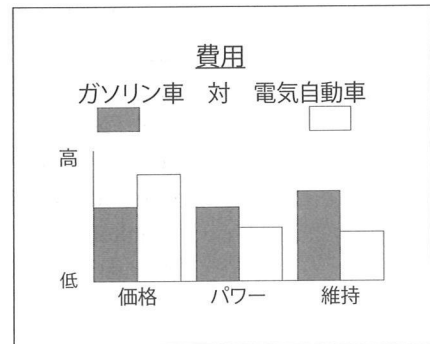
②



③



④



正解は④。

カイリーは3回目の発言で「電気自動車は多くの仕事を必要としないから、維持費もより安く済むのよ」と述べている。ここでの「仕事(量)(work)」とは物理学で言う「仕事」、すなわち外から受ける力の作用のことであり、物体は仕事をされるとそれだけ運動エネルギーは増加する。車で言えば、動力や推進力といった「パワー(power)」が増すということである。「電気自動車は多くの仕事を必要としない」ということは「車が発揮するパワーも少ない」ということであり、④の図表の中央の棒グラフがそのことを示している。また、④の図表の右の棒グラフが「維持費もより安く済む」ということを示している。以上から正解は④となる。

主な語句・表現

[図表]

◇ funding 「資金提供」

◇ maintenance 「維持」

[会話文]

- ◇ watch out 「気をつける」
- ◇ vehicle 「車；乗り物」
- ◇ get used to ... 「…に慣れる」
- ◇ Seriously? 「〈相手の発話を受けて〉本気 [正気] かい？」
- ◇ at one time 「一度に」
- ◇ it takes ages to - 「-するのにとても時間がかかる」
- ◇ recharge 「〈電池など〉を充電する」
- ◇ concern 「関心事」
- ◇ right now 「まさに今」 right は、ここでは「まさに」という意味の強意の副詞。
- ◇ far は、ここでは比較級を強調して「はるかに」という意味。
- ◇ ordinary 「普通の」
- ◇ Correct, but ... 「その通りだけど…」 Correct の前には That's が省略されている。
- ◇ Hey guys 「〈注意を引くために呼びかけて〉なあみんな」
- ◇ boring 「〈事・物が〉退屈な；つまらない」
- ◇ With governments -ing 「政府が-している (ので)」 ここでの with は付帯状況の with。(例) She was sitting there *with her hand shading her eyes*. 「彼女は手を目にかざしてそこに座っていた」
- ◇ push for ... 「…を求め (続け) る」
- ◇ green 「環境にやさしい」
- ◇ comfortable 「〈生計などが〉十分な」
- ◇ profit 「利益」
- ◇ maintain 「維持する」
- ◇ hardly ever ... 「めったに…ない」
- ◇ charging station 「充電スタンド」
- ◇ though 「だけど」 though は、ここでは副詞。
- ◇ highway 「幹線 [主要] 道路」
- ◇ full car 「満員の車」
- ◇ cool 「最高の」
- ◇ last 「続く；持ちこたえる」
- ◇ wait and see 「少し (待って) 様子を見る」
- ◇ definitely 「きっと；確かに」
- ◇ alternative 「代替りの」
- ◇ fuel 「燃料」